



お父さん、お母さんのための One Point 講座

No.7



『小学生期の 3 つの心がけ』

座間保裕・光の子園園長の礼拝より

『イエス・キリストの語られた、「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ」。これがいちばん大切な、第一の戒めです。第二もこれと同様であり、「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」とあります。人間には必ず個性や神性があります。神様から与えられた神性を発揮して立派な大人になってもらいたいと思います。』

* 大切な 3 つの心がけ

毎日の生活の中で小学生として、いつも心がけておいたら良い三つの点についてお話しします。第一は、お父さん、お母さんから呼ばれた時は必ず「はい」と返事をするということです。先生から呼ばれた時、他人から呼ばれた時も同じです。自分の意思を「はい」という返事ではっきりと表す者になりましょう。また、質問などされて「わかりますか」と言われた時も、「はい」または「いいえ」と大きな声で言いましょう。

第二は、朝起きたらお父さん、お母さんに「おはようございます」とあいさつをすることです。学校に行ったら先生にも友達にもしましょう。そして、これは自分の方から言うようにしたほうが良いのです。授受作用の初めはまずあいさつからです。また、「どうもありがとう」や「すみません」「おやすみなさい」などもあいさつ言葉として自然に出るようにしましょう。

そして第三は、椅子を出したら必ずもとに戻すこと。さらに靴は必ずその都度揃えることです。これを成せるようになると、すべての整理整頓の習慣が身についてきます。締まりのある人間になるのです。この小さな三つのことを心がけたら大きなこともできる人になれるでしょう。

(裏面に続く)



* 神の子としての品性を身につけよう

小学校 1・2 年では

- ① 学校で使う学用品を前日に揃えること。
- ② 明日自分が着るものを準備しておく。
- ③ 学校から帰ったらまず敬礼をし、勉強（宿題等）をする。
- ④ 国語の本は、自信を持って読めるようにする。

小学校 3・4 年生では

- ① 家事の手伝いをする。
- ② 自分の布団の片づけをする。
- ③ 算数の勉強では、わからないところがないようにする。
- ④ ゲームやパソコンは時間を決めてそれ以上は遊ばない。

小学校 5・6 年生では

- ① 毎朝家のまわりを掃除する。
- ② 女の子は配膳と片づけをする。
- ③ 靴をきちんと管理する。
- ④ 朝、親に起こされなくて起きる。

皆さんはここに書いてあるものがどれだけできていますか。学年ごとにチェックしてみてください。高学年になれば当然低学年の内容も含まれます。もしできていないものがあれば、お母さんと相談してできるように努力しましょう。そしてこれらの内容を一生懸命努力すれば、神様が喜んで私たちの心の中に住み、神の子としての品性を現すことができるようになるでしょう。逆に言えば、神様が心の中に住むようになれば、これらのことができるようになってくるのです。

<これをやりなさいという親の押しつけにならないように>

- 1、 良心を立てて下さる神様を信じて親が待ってあげる
- 2、 子どもに考えさせる、「やりなさい」と押しつけない
- 3、 神様に尋ねさせる
- 4、 良心に忠実に生きるように導く、創造美を感じる環境を整えてあげる
- 5、 話を遮ったりしつこく聞き出そうとしない、言えるまで待ってあげる

★できるまでは親と一緒にやってあげること。片づけや準備はできたらきとんと褒めてあげましょう。忍耐強く待ってあげてみてください。

（世界平和統一家庭連合 岡山家庭教会 子女教育担当資料）